

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月26日

事業所名: 児童発達支援センター さくらんぼ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	保育室でもホールでも十分に楽しめるスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	11	1		職員が急に休んだ時も配置基準を満たし、職員個々の動きを工夫して対応している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	必要最低限の物しか置かず、視覚的に邪魔にならないように気を配っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	0	毎日のミーティングで一日の反省を行い次に活かしている。	月に2回グループミーティングを行い、職員間で話し合いの場を持っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	感想文などに書かれている意見などもしっかり受け止め話し合いながら進めている。	保護者の意見を取り入れ、改善していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	ホームページに掲載するとともに利用者に配付している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3	第三者評価は行っていないが、第三者に相談し、助言を得ている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0		できるだけ研修の機会を増やしていきたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2		
	12	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	児童発達支援計画に沿った支援を行っている。	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	0	グループミーティングなどを行い立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	過去の記録を確認するなど内容が偏らないようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	0	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	毎回、支援前に15分間のミーティングを行い、確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	0	保育終了後に、会議にて職員間で共有し、改善するために話し合いをしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	保育日誌を作成して支援の検証・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	定期的に話し合い、支援計画に反映させている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	0	参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	0	保健所や相談支援事業所などと連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	自治体の保健センターや福祉課と連携している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	0	訪問看護ステーションや主治医と連携している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	0	保育所や幼稚園と連携している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	0	小学校と連携している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	0	児童発達支援センター等と連携して研修を受講している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	8	コロナ禍のため、機会が少なかった。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したので、今後、検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	0	自立支援協議会子ども部会に参加している。	

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	保護者学習会やグループ懇談会等を通じて情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	0	保護者学習会やグループ懇談会等を通じて支援を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	契約時に説明している。	
	33	児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12	0	支援内容の説明を行い同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	0	連絡ノート(お帳面)でのやり取りのみでなく、園長と職員で個別の面談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	定期的な面談の他、相談には逐一対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	月1回のおたより、月の予定などその都度出している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	7		コロナ禍でできていなかったの、今後考えていく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	1	毎月、訓練を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	毎月、訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	0	入園時に確認している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	0	職員全員が理解するようにしている。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	ヒヤリハットは日誌に記入している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1	虐待防止研修を実施している。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	身体拘束を行うケースがない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。